

# 明るい社会保障改革研究会 報告書 概要

～予防・健康づくりを社会保障の「第5分野」と位置づけ、「百年健幸」の国づくりを進めるべき～

## 1. 基本的な考え方

- 人生100年の安心の基盤は「健康」。ポスト平成の令和の時代は、「百年健幸」の国づくりを目指すべき。
- このためには、予防・健康づくりを、年金、医療、介護、子育てに続く、社会保障の「第5分野」と位置づける必要。
- ウェアラブルやデータ等を活用した民間サービスを積極活用することで、①個人の健康増進、②社会保障の担い手の拡大、③成長産業の育成、の3つを同時に実現する、「3方良し」の明るい改革を推進すべき。

## 2. 具体的な施策案

### (1) 保険者へのナッジ・インセンティブ

- 保険者努力支援制度の抜本強化、成果指標の重視
- 後期高齢者支援金の加減算の強化、成果指標の重視
- 介護インセンティブ交付金の抜本強化
- 自治体を支援する予防・健康交付金（仮称）の導入

### (2) 企業へのナッジ・インセンティブ

- 企業の健康投資の見える化
- 企業の健康投資を促進する税制措置の検討
- 事業主・保険者の従業員健診100%実施の促進

### (3) 個人へのナッジ・インセンティブ

- ヘルスケア・ポイントの全国展開
- 個人の健康投資を促進する税制措置の検討

### (4) 医師へのナッジ・インセンティブ

- 予防の視点からのかかりつけ医・かかりつけ歯科医機能の強化・支援
- 医師会等による地域の予防・健康づくりの支援

### (5) 予防・健康サービスの拡大に向けた基盤整備

- 医師、保険者、運動・栄養サービスが一体となった生活指導の促進
- ウェアラブル機器等を「健康増進機器」として認証する仕組みの確立
- ウェアラブル機器等を導入する介護事業所への人員配置基準等の緩和

### (6) 大規模実証事業の実施

- ウェアラブル機器等を活用した予防・健康づくりの健康増進効果をエビデンスとして確立するための大規模実証事業の実施